

経営比較分析表（令和2年度決算）

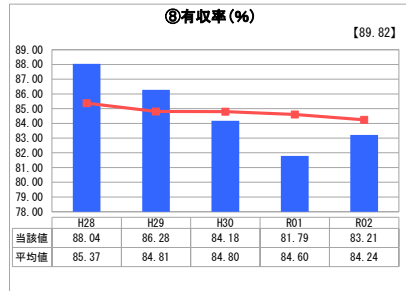
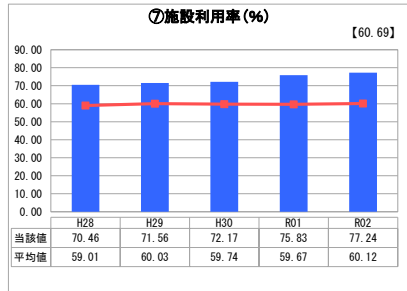
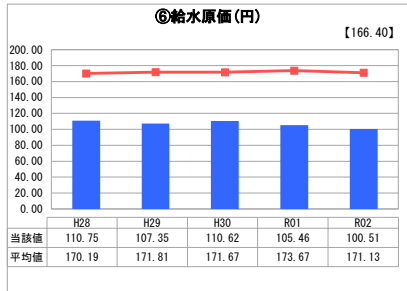
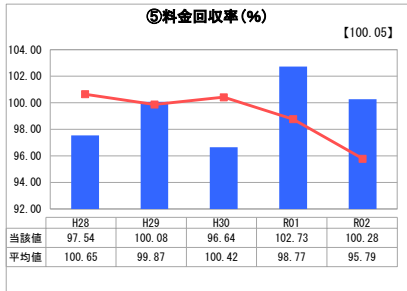
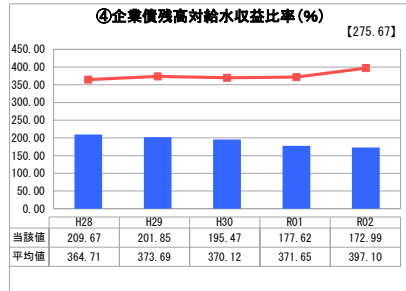
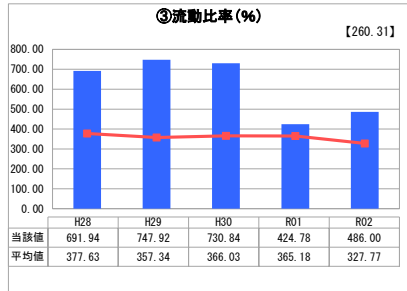
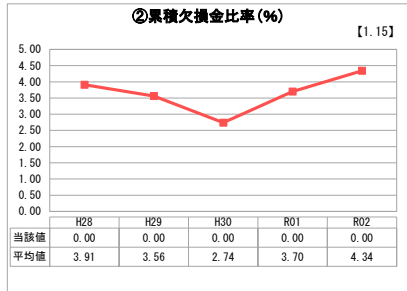
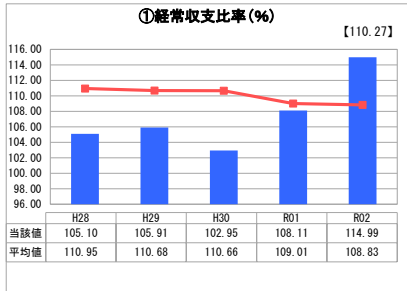
神奈川県 南足柄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	85.53	97.80	1,595	

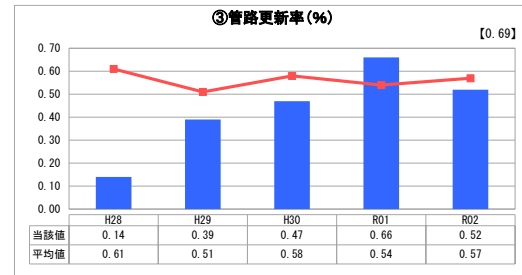
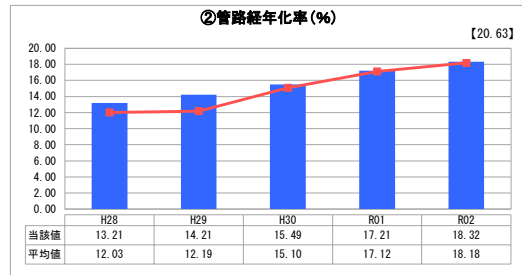
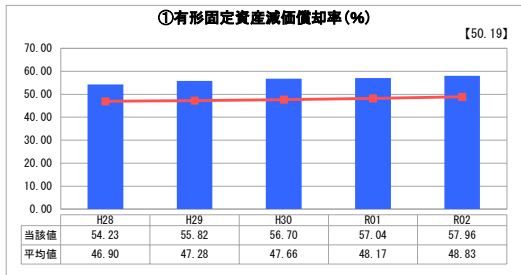
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
41,650	77.12	540.07
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
40,529	19.05	2,127.51

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、100%を超え、類似団体平均値や全国平均よりも高く、②累積欠損金もない状態であるため、かなり安定した経営状態です。
 ③流動比率も100%を超え、短期的な債務に対する支払い能力は十分にある状態です。
 ④企業債残高対給水収益比率は、資金的に余裕があるため、類似団体平均値や全国平均より低い状態で維持していますが、今後、更新工事等の設備投資が増加することにより高くなるのが想定されます。
 ⑤料金回収率も新規企業の通年稼働等による給水収益の増加により100%を超えています。前年度と比較して低くなっているのは、新型コロナウイルス感染症対策として国庫補助金による基本料金の減免を行ったためです。
 ⑥給水原価が類似団体や全国平均より低い状態は以前から変わりありません。理由は、本市が表流水と地下水の両方を水源としていることや立地条件によるものと考えられます。
 ⑦施設利用率は、類似団体平均値や全国平均より比較的高く、有効的に施設を活用していると言えます。
 ⑧有収率は、類似団体平均値や全国平均より比較的低いですが、効果的な漏水修繕の実施により前年度よりも上昇しています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値や全国平均より高い水準となっており、老朽化が進んでいます。そのため、計画的に更新工事を実施しているところです。
 ②管路経年化率は、類似団体平均値と同様に上昇傾向になってはいますが、③管路更新率の向上が進んでいません。そのため、DB方式を導入し、対策を図っているところです。

全体総括

人口減少や節水機器の普及により、家庭用の水需要は減少傾向が続いていましたが、令和2年度は果ごもり需要があったため、増加しています。また、本市の特徴として、工場用の水需要の動向に大きく影響を受けています。
 施設や管路の老朽化対策については、DB方式の導入等により、今後は投資が増えていきますが、内部留保資金や企業債を活用し、計画的に進めていきます。